

商業経営論

担当者 加藤 司

開講時期 前期 単 位 2

●講義の概要

現代の商業経営は、「チェーン・システム」の観点から理解することが重要である。一つは、多様な小売業態の経営を支える共通の基盤としてのチェーン・オペレーションであり、もう一つは取引先である卸売業、メーカーまで遡るサプライチェーンの観点である。環境変化に合わせてダイナミックに変化する商業経営の課題、その変化の背後にあるメカニズムを理解する。

●講義の到達目標

- ・商業経営に関する基礎的理論、チェーンオペレーション、サプライチェーンを理解し、説明することができる。
- ・基礎的理論を適用して、具体的な業界、業態の発展を説明することかできる。
- ・情報技術の発展やグローバル化が流通に対して与える影響を理解し、説明することができる。

●講義計画

- 第1回：流通機能としての「需給斉合」
- 第2回：サプライチェーンの分析枠組み
- 第3回：品揃え形成の理論
- 第4回：投機・延期の理論
- 第5回：チェーンオペレーションの仕組み
- 第6回：DS（価格引き下げの仕組み）
- 第7回：CVS（在庫と品揃えのトレードオフの克服）
- 第8回：SPA（実需の変化に適應する製造小売）
- 第9回：VC（中小企業のチェーン化）
- 第10回：製販連携の課題（中間のまとめ）
- 第11回：ロジスティクスからサプライチェーンへ
- 第12回：PBの開発
- 第13回：オムニチャネル
- 第14回：小売業のグローバル化
- 第15回：まとめ

●成績評価基準と方法

- ① 流通論の理論的枠組みを理解したか。
- ② 理論に基づいて、現実の変化を説明できるか。

以上の評価基準に基づき

- ① 授業での発言など参加度 20%
- ② レポート 80%

など総合的に判断して評価する。

●テキスト又は参考文献

テキスト

大阪市立大学商学部編『ビジネス・エッセンシャルズ (5) 流通』有斐閣、2002

参考文献

加藤 司著『日本的流通システムの動態』千倉書房、2006

●受講上の留意点

- ・一定の出席回数を満たさない場合は、定期試験の受験資格を与えない。
- ・ノートをとるだけでなく、授業中に自らの頭で理解することに努めること。
- ・授業中は、学生も授業に参加し、積極的に質問や意見を発言すること。